

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和5年10月16日

【3年あんしん教室】

第61回運動会「学校へ行こう」

9月30日(土)、運動会を開催しました。ご来賓をお招きし、ご家族や地域の皆様の入場制限なしで実施するのは4年ぶりのことです。今年度のスローガンは「仲間を信じて全力で！」。児童会から伝えられた「練習のときから全力で取り組みましょう」の言葉通り、練習の1日目から子どもたちの動きに本気さを感じられました。学年ごとに行なった低学年のかけっこ、中・高学年のリレーでは、どの子も最後まで全力で走り抜く様子が見られました。特に高学年のリレーでのスピード感は圧巻でした。表現種目は、2学年ごとに行ないました。昨年度と比べて人数が倍になり、どのブロックの演技も迫力満点でした。演技を終えた子どもたちにとっても達成感が大きかったようです。また、今年度は市制施行80周年記念事業「学校へ行こう」として運動会を実施し、地域や保護者の皆様と全校児童が参加する玉入れを種目に加えました。予想以上に大勢の方にご参加をいただき、大変盛り上がりました。子どもたちはもちろん、参加された大人の皆様にも楽しんでいただけたようです。運動会では、多くの方の拍手や声援が子どもたちの励みになりました。ご来校、ありがとうございました。



読み聞かせ「ふくびき」～校長講話(10月2日)～

<絵本の要旨>幼い姉と弟はお母さんが欲しかったバッグをプレゼントしようと思いますが、2人の所持金80円で買えるバッグはありませんでした。ところが、家に帰る途中で、弟が福引券を拾います。そして2人はずるをしていることに気づきながら、バッグを手に入れるために福引のハンドルを回します。みごとに3等のバッグを当てますが、姉はうそをついたままバッグを持ち帰る行為が許せず、拾った券を使ったことを正直に話します。それを聞いていたほかのお客さんは、姉の言動に感動し、福引補助券を姉弟に譲ります。もう一度福引をするチャンスを得た姉と弟は、4等のケーキを当てて、家に持ち帰りました。家に帰った姉と弟は一部始終を母に話しました。…



〔くすのき しげのり・作
狩野富貴子・絵 小学館〕

この本を読んで、校長先生は心がとてもあったかくなりました。そして、この絵本に出てくるお母さんも、とても幸せな気持ちになったはずですが、お母さんが最後に、「最高のクリスマスプレゼントをありがとうって、サンタさんにお手紙書いてこうかしら」と言っていました。お母さんがもらった最高のプレゼントって、何でしょうか？・・・正解は、2番の子どもたちが「やさしくて」「正直な」「いい子」だということです。ところで、このお話で、拾った券でバッグを当ててしまったあと、お姉ちゃんが正直に言えず、そのまま福引のバッグをもらっていたら、どうなったのでしょうか・・・お母さんは、拾った券でずるをしてももらったバッグを、喜んでくれたかな？・・・ずるをしてもバッグをお母さんにあげたかった弟は、お母さんの表情をみて、うれしい気持ちになれたかな？そう考えると、ずるをしないで、正直に生きることは、みんなの幸せのためにもとても大事ななあと思います。

伝承遊具の集い(対象:6年生) ~10月5日~

「伝承遊具の集い」は、コロナ禍前には東部小の伝統行事の1つとして、毎年行われていた行事です。4年ぶりの開催となりました。4月から3地区の老人会の代表の方による打ち合わせを何度も重ね、それぞれの地区から多くの方にご協力をいただきました。作りたい物によって「竹とんぼ」「紙でっぽう」「おじゃみ」の3グループに分かれ、児童2名に対し1名のお年寄りが付いて、作り方をいねいに教えていただきました。同じ物を作るのに対しても、教えてくださる方による工夫がそれぞれにあり、昔に身につけられた細かな技が見られました。事前の準備をしっかりとさせていただいたおかげで、遊ぶ時間もしっかりと取ることができました。6年生の子どもたちが地域のお年寄りと交流する、とてもよい機会になりました。



★9月15日発行の校長室だよりの記事「豊川市誕生の背景と豊川市の歩み」のなかで、豊川市誕生当時の町村名について「国府村」と記載してあるところがありますが、「国府町」の誤りです。訂正いたします。